

CDラジオカセットレコーダー

CSD-MB40

取扱説明書/保証書

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

安全上のご注意	2
電池(別売り)についての安全上のご注意	4
Bluetooth®機器について	4
使用上のご注意	5
梱包内容の確認	5

< 使用方法はこのページからです >

電源を準備する	6
各部名称	7
電源を入れる	8
CDについて	9
CDを聞く	10
その他の方法でCDを聞く	12
レンズのお手入れ	13
ラジオを聞く	14
Bluetooth 機器を再生する	16
テープについて	17
テープを聞く	18
テープに録音する	19
マイク(市販品)を使ってカラオケなどを楽しむ	21
ヘッドホンで聞く	24
外部音源で聞く	24

故障かなと思ったら	25
主な仕様	27
保証書とアフターサービス	27
製品保証書	裏表紙

安全上のご注意

火災や感電などによる人身事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く 指示

危険



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

警告



禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイワの相談窓口にて交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、速くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、壁などに密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



注意



分解禁止

分解・修理・改造はしない

感電・火災の原因となります。内部点検・調査及び修正はお買い上げ店またはアイワの相談窓口にご依頼ください。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CD蓋などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようご注意ください。



禁止

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。

以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。

また、緊急の場合には、ただちに本機の電源を切ってください。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。
- 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池(別売り)についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池(別売り)をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

アルカリ(アルカリ乾電池の使用をおすすめします。)

危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れてない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

Bluetooth®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること

周波数について

本機は 2.4GHz 帯の 2.4000GHz から 2.4835GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、アイワの相談窓口までお問い合わせください。アイワの相談窓口については、製品保証書をご覧ください。

2.4FH1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10 m です。

使用上のご注意

設置場所について

- 本機のスピーカーには強力な磁石を使用しています。キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気カード類、カセットテープなどの磁気テープ類、時計など磁気に変化して不具合が起きることがありますので近づけないでください。
- テレビやチューナーなどの近くには置かないでください。雑音や画像が乱れることがあります。
- 本機は防水仕様ではありません。風呂場など湿気の多い場所で使用・保管しないでください。
- ヒーターなど熱を発する器具の近くには置かないでください。外装が変形したり、故障を引き起こす恐れがあります。
- 寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、表面や内部に水滴（結露）がつくことがあります。結露が起きたときの使用は、故障の原因となる場合がありますので電源を切って結露がなくなるまで暖かいところで放置し、結露がなくなってからご使用ください。
- 使用しないときは、レンズにほこりがつかないように CD 蓋を開けてください。

録音について

- 録り直しの効かない録音の場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本機を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても当社は一切その責任を負いかねます。

著作権について

- お客様が録音したものに著作物となるものが含まれている場合、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音量について

- 音源の録音レベルの違いによりラジオ/CD再生時の音量と異なる場合があります。

ヘッドホン(別売)使用時のご注意

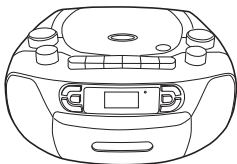
- 音量を調節して耳を刺激しないように適度な音量で聞いてください。

温度上昇について

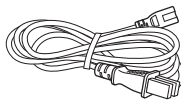
- 本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

梱包内容の確認

本機を箱から出したら、以下の付属品があることを確認してください。



本機



電源コード

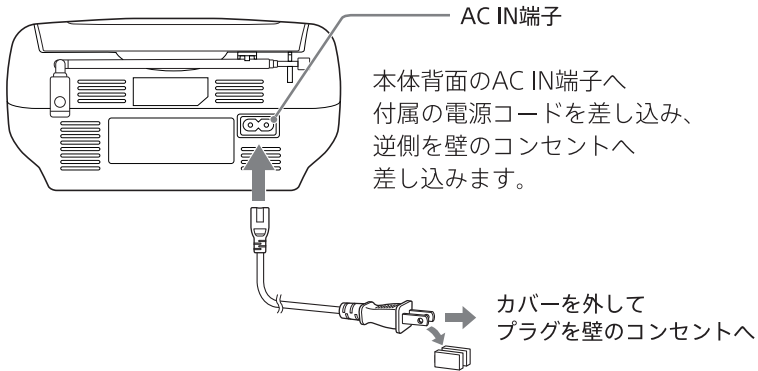


取扱説明書 / 保証書(本書)

まずはじめに

電源を準備する

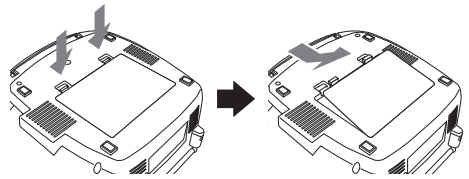
コンセントに電源コードを接続する



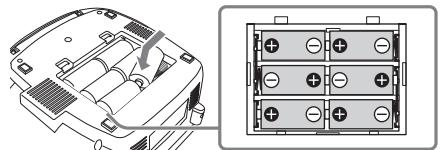
乾電池(別売り)を使う場合

- 乾電池でご使用になる場合は電源コードを取り外してください。
※アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
- 長時間ご使用になるときや大切な録音をするときは、付属の電源コードをご使用ください。
- 乾電池が消耗してくると、正常に動作しない、音が小さいなどの症状が発生しますので、このようなときは新しい乾電池と交換してください。

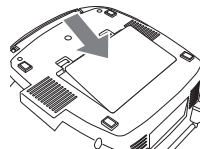
1. 本体底面の電池ふたのツメ(「OPEN ▼」の表示がある箇所)を押しながら開ける。



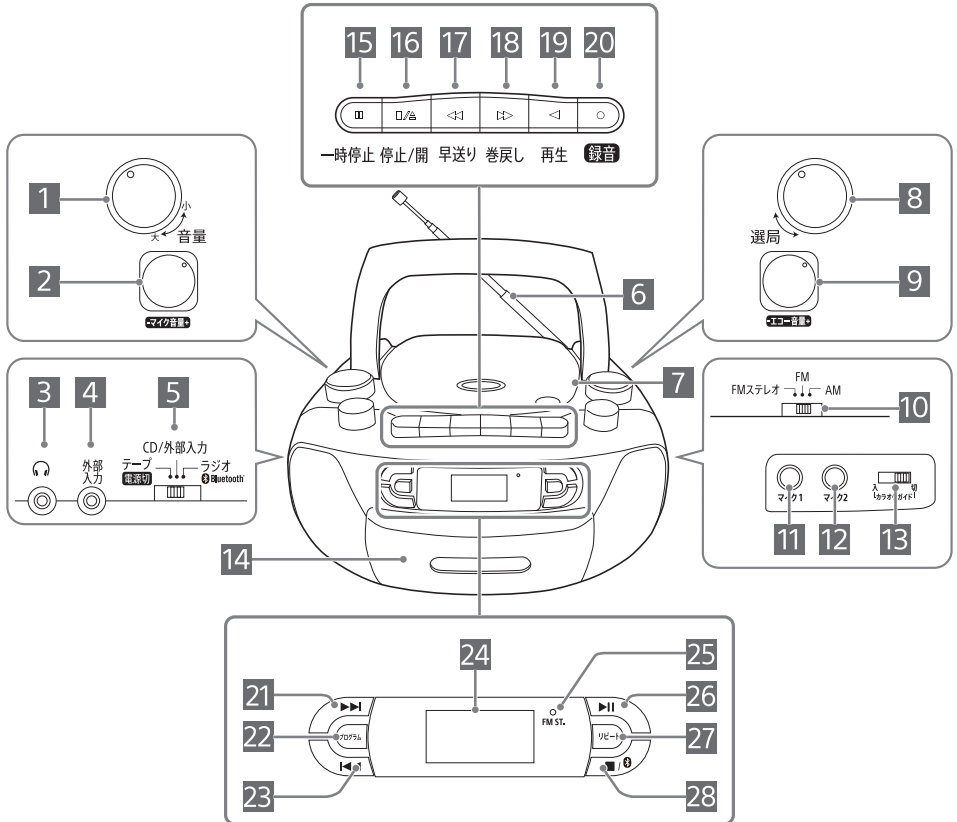
2. 単2形乾電池6本(別売り)を入れる。
必ず一側から、+と-を正しく入れてください。



3. 電池蓋をしっかりとめ込む。



各部名称



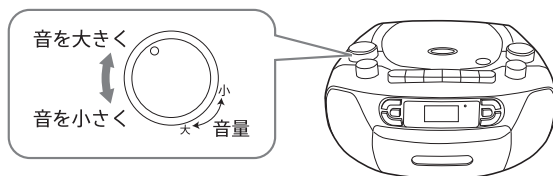
- 1 音量調節ダイヤル
- 2 マイク音量ダイヤル
- 3 ヘッドホン端子
- 4 外部入力端子
- 5 電源/ファンクションスイッチ
- 6 FMアンテナ
- 7 CD蓋
- 8 選局ダイヤル
- 9 エコー音量ダイヤル
- 10 AM/FM切替スイッチ
- 11 マイク入力端子1
- 12 マイク入力端子2
- 13 カラオケガイドスイッチ
- 14 カセット蓋

< 15～20カセットテープ操作部 >

- 15 (一時停止) ボタン
- 16 (停止 / 開) / ボタン
- 17 (早送り) ボタン
- 18 (巻戻し) ボタン
- 19 (再生) ボタン
- 20 (録音) ボタン
- 21 (曲送り / 早送り) ボタン
- 22 プログラムボタン
- 23 (曲戻し / 早戻し) ボタン
- 24 ディスプレイ
- 25 FMステレオランプ
- 26 (再生 / 一時停止) ボタン
- 27 リピート再生ボタン
- 28 / Bluetooth (停止) / Bluetooth ボタン

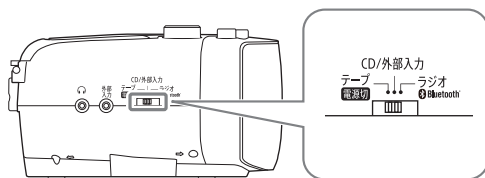
音量を調節するには

音量調節ダイヤルを回すと、音量を調節できます。



電源を入れる

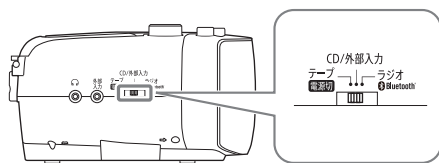
ファンクションスイッチを「CD/外部入力」または、「ラジオ/Bluetooth」に合わせるとディスプレイのバックライトが点灯して電源オンになります。



スイッチをCD/外部入力
またはラジオ/Bluetoothに
合わせる

機能を切り替えるには

電源が入るとそれぞれに対応した画面が表示されます。



スイッチをスライドする



CD表示 (CD 未装着時)



FMまたはAM表示



CD表示 (CD 装着時)

CDについて

CDの種類について

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外（星型、ハート型、カード型など）の特殊な形状をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- Dual Disc* の再生はできません。* DualDisc は DVD 規格に準拠した面と音楽専用とを組み合わせた両面ディスクです。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DA フォーマット * で記録された CD-R（レコーダブル）および CD-RW（リライタブル）ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
* CD-DA は CompactDiscDigitalAudio の略で、一般オーディオ CD に使用されている、音楽収録用の規格です。
- 本機は、CD 再生専用です。CD-R/CD-RW に録音はできません。
- ファイナライズ処理（CD-R/CD-RW 対応の CD プレーヤーで再生できるようにする処理）していないディスクは再生できません。

著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

CDのお手入れのしかた

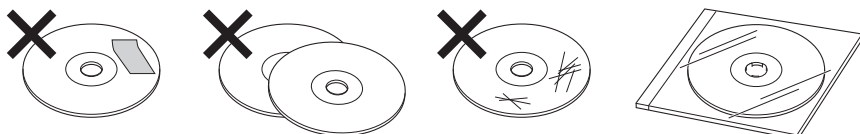
- 指紋やほこりによる CD の汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布で CD の中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ペンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは CD を傷めることがありますので、使わないでください。



柔らかい布で拭く

CDの保管について

- CD に紙やシールを貼らない。
- 重ねた状態で放置せずにケースに入れて保管する。
- 直射日光の当たるところ、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所には置かない。



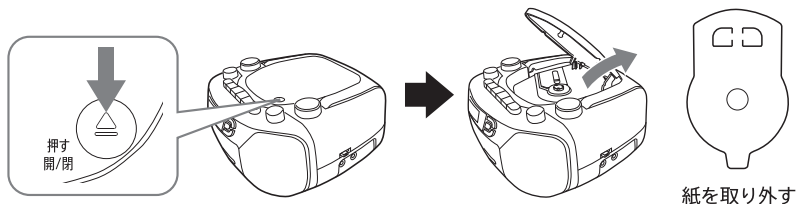
ケースに入れて保管

CDを聞く

1. ▲ (開 / 閉) を押して CD 蓋を開ける。

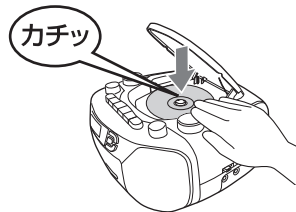
CD蓋は無理に大きく開けようとししないでください。CD蓋が破損するおそれがあります。
ご使用の前に、必ず紙を取り外してください。

- 取り外した紙は、破棄していただいてもさしつかえありません。

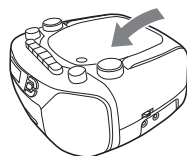


2. CD の印刷面を上にして、「カチッ」と音がするまで入れる。

CDはしっかりと装着してください。再生中にカラカラと音が鳴って、正常に作動しない場合があります。

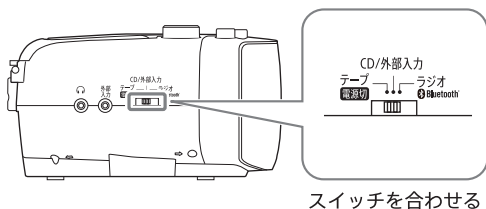


3. CD蓋を押して閉じる。



4. ファンクションスイッチをスライドして「CD / 外部入力」に切り替える。

CDの読み込みが始まり、ディスプレイに総曲数が表示され、自動的に再生が始まります。



- 本機は、1曲の再生時間の表示が29分59秒までとなりますが、30分を超える曲でも再生には問題ありません。

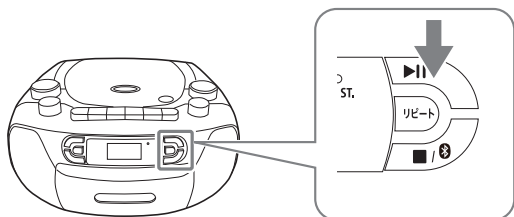


再生中に曲を一時停止するには

▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押します。

再生を再開するには、もう一度▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押します。

停止している位置から再生になります。

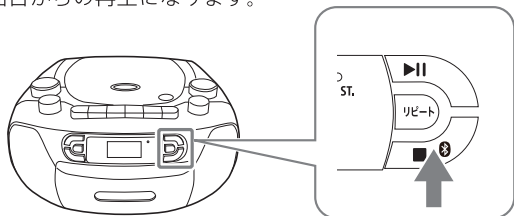


再生を停止するには

再生中に■ (停止) ボタンを押します。

再生を再開するには▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押します。

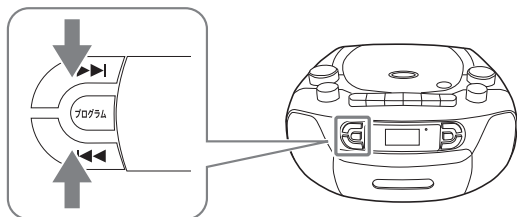
1曲目からの再生になります。



曲を送る/戻すには

◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンをくり返し押して、お好みの曲番号を選択します。

停止中に操作した場合は、▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押すと選択した曲から CD を再生します。



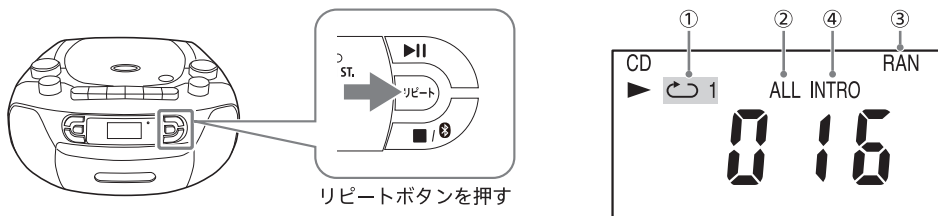
◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンを押す



その他の方法でCDを聞く

リピート/ランダム/イントロ再生をする

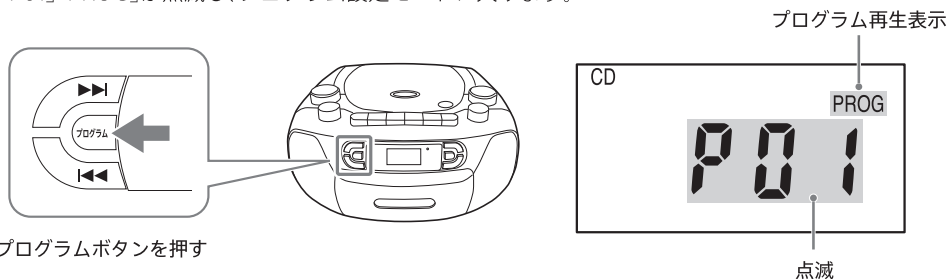
リピートボタンを押すたびに、再生モードが以下のように切り替わります。



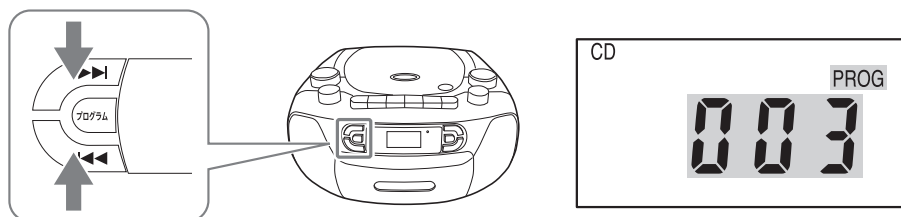
再生モード	動作	ディスプレイ表示
①1曲リピート	再生中の曲をリピートします。	☺ 1
②全曲リピート	CD全体をリピートします。	☺ ALL
③ランダム	ランダムに再生します。	RAN
④イントロ	曲の始めの10秒のみを再生します	INTRO
⑤通常再生	通常の再生モードです。	(表示なし)

プログラム再生をする

1. ■ / Bluetooth (停止) / Bluetoothボタンで停止中にプログラムボタンを押す。
「P01」「PROG」が点滅し、プログラム設定モードに入ります。



2. ◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンを押して曲を選ぶ。



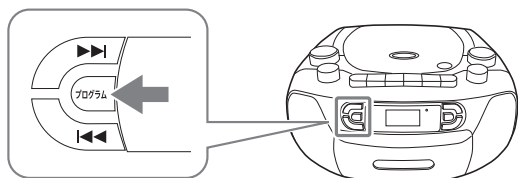
◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンを押す

曲番号を選択

3. プログラムボタンを押す。

選択した曲がプログラムに設定され、次の曲を選択する画面になります。最大 20 曲まで設定できます。

続いてプログラムを設定するには、手順 2～3 をくり返します。



プログラムボタンを押す



次の曲を選択

4. ▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す。

プログラム再生モードに切り替わり、設定したプログラムの曲順で CD を再生します。

プログラム再生から通常再生に戻るには

再生中に ■ (停止) ボタンを押すと、プログラム再生を停止します。

もう一度 ■ (停止) ボタンを押すと、プログラムが解除されます。

CD 蓋を開けたり電源を切るとプログラムは解除され、PROG 表示が消えます。

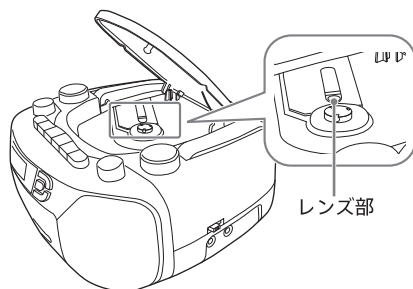
レンズのお手入れ

市販品のレンズクリーナーで汚れを取り除いてください。

詳しい使用方法はレンズクリーナーの取扱説明書などをご覧ください。

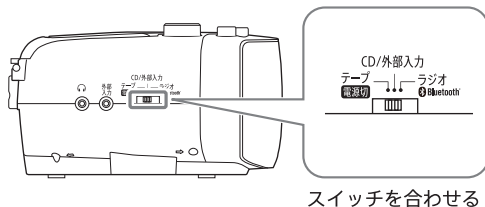
注意

- レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。

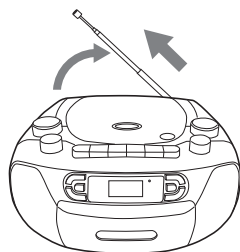


ラジオを聞く

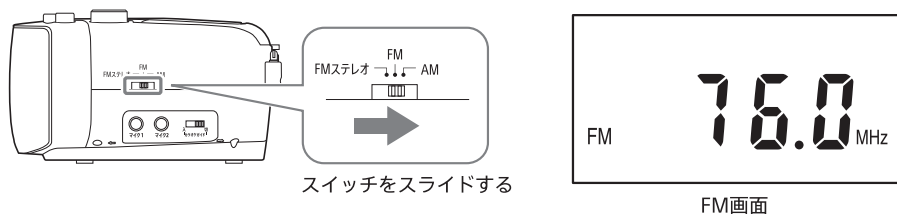
1. ファンクションスイッチをスライドして「ラジオ /Bluetooth」に合わせる。



2. FM アンテナを伸ばす。(FM 放送を聞く場合のみ)

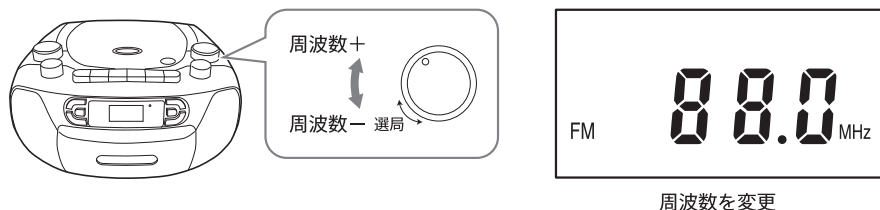


3. AM/FM 切替スイッチをスライドして「FM」もしくは「FMステレオ」に切り替える。
AM 放送を聞く場合は、AM/FM 切替スイッチをスライドして「AM」に切り替えます。



- 4 選局ダイヤルを回して周波数を変更し、放送局を選択する。

※AM と FM の選局ダイヤルは連動しています。
片方を選局した場合、もう片方の放送局も変更されます。



AM/FM 切替スイッチを「FM ステレオ」にして受信した場合、FMST ランプが点灯します。
受信感度が十分でない場合や、ランプが点灯しない場合は「FM」に切り替えてください。



受信状態を良くするには

受信状態が悪いなど、ラジオ放送がうまく受信できないときは、ラジオの向きやアンテナの長さや角度を調節してください。室内でラジオをお使いの時は、窓際などが良く受信できます。

AM放送の場合

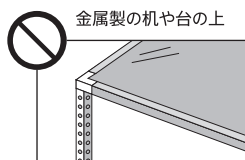
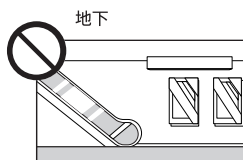
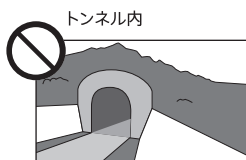
AM アンテナは本体に内蔵されています。本機を動かして、受信状態が最も良い向きを探してください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。※FM アンテナを伸ばしても AM 放送の受信感度は向上しません。

FM放送の場合

FM アンテナを伸ばして、長さや方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。FM ステレオに設定した状態で、FM ステレオ放送を良好な状態で受信すると、FM ステレオランプが点灯します。



電波状況が悪いところ

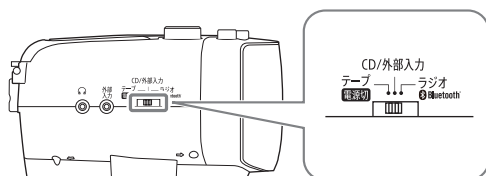


周波数について

電離層の状態の変化に影響され、条件の良い周波数は、季節・時刻・地域などによって変わってしまいます。そのため放送局はどのような条件でも良好に受信できるように季節・時刻によって複数の周波数を切り替えて、または、同時に使って放送しています。夏季・昼間は高い周波数、冬季・夜間は低い周波数の方がよく伝わります。

Bluetooth機器を再生する

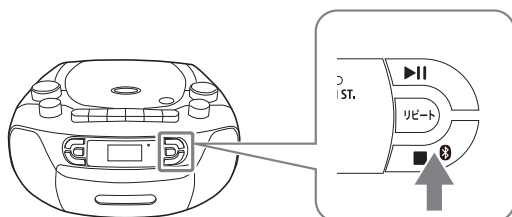
1. ファンクションスイッチをスライドして「ラジオ / Bluetooth」に合わせる



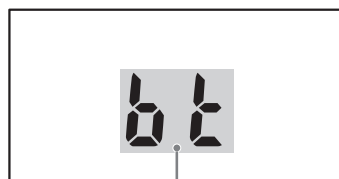
スイッチを合わせる

2. ■ / Bluetooth (停止) / Bluetooth ボタンを押して「bt」に切り替える。

「bt」が点滅し、本機がペアリングモードに切り替わります。



■ / Bluetooth (停止) / Bluetooth ボタンを押す



点滅

3. Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにして、本機とペアリングする。

本機は「CSD-MB40」と表示されます。

ペアリングが完了すると音が鳴り「bt」が点灯します。

一度ペアリングした機器は、本機が Bluetooth モードに入ると、自動で Bluetooth 接続できます。

4. Bluetooth 機器を操作して、曲を再生する。

本機の ▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押しても再生できます。また、◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンを押しても操作できます。

5. Bluetooth 機器と接続中に、■ / Bluetooth (停止) / Bluetooth ボタンを押すと、接続解除されラジオに切り替わります。

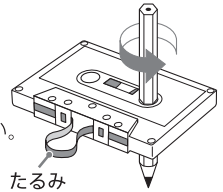
注意

- Bluetooth 機器の詳しい操作は、機器の取扱説明書などをご覧ください。

テープについて

操作をする前に以下をご確認ください

- 本機ではノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。
ハイポジション(TYPE II)やメタル(TYPE IV)のテープには対応しておりません。
- テープが巻き込まれて故障の原因となることがありますので、鉛筆などでたるみを巻き取ってからご使用ください。
- 90分を超える長時間テープは通常のテープに比べて非常に薄く伸びやすいため、機械に巻き込まれるなどトラブルの原因となりますので、本機でのご使用はおすすめできません。60分以下のノーマルテープをご使用ください。
- エンドレステープは使用できません。

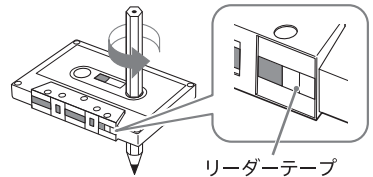


劣化していないテープ、汚れのないテープをお使いください

- カセットテープケースの変形や歪み、長期間のご使用でテープが劣化しテープに波打ち・伸びがある場合は、ピンチローラーにテープが絡むことがあり、テープ切れなどの原因となります。
- テープの汚れがひどくなるとヘッドに付着し、音が小さい・音が途切れる・音が出ないなどの症状が出て、きれいな音で再生や録音ができなくなり、故障の原因となります。

録音時の頭切れを防ぐために

- テープの両端には「リーダーテープ」と呼ばれる録音できない部分があります(磁性が塗られていない透明または乳白色の部分です)。
録音時の頭切れを防ぐため、「リーダーテープ」部分を鉛筆などで送ってからテープを入れてください。

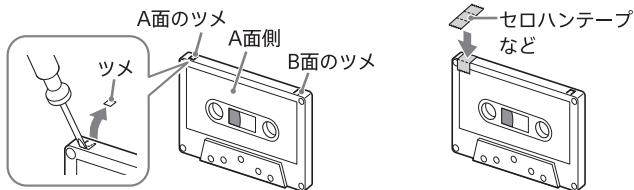


大切な録音をするときは

- 乾電池使用の状態では録音すると電池残量が足りずに録音できないことがありますので、付属の電源コードをご使用ください。

テープに録音した内容を消さないために

- ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防げます。
- ツメを折ったカセットテープにもう一度録音する場合は、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐことで録音できます。

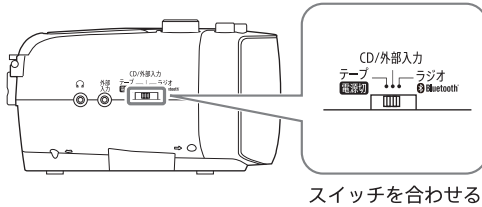


注意

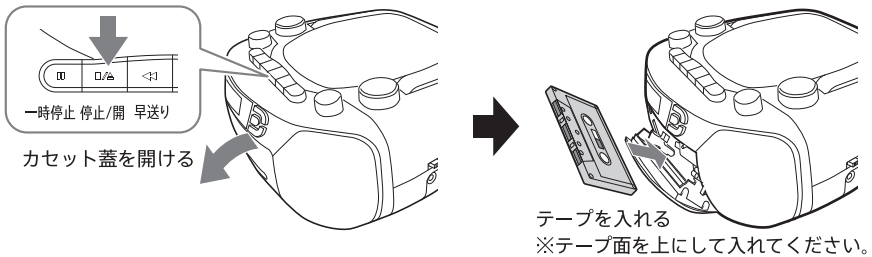
- 折ったツメが誤って製品内部に入ると故障の原因となりますので、必ず廃棄してください。

テープを聞く

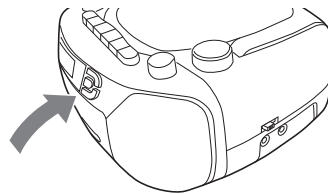
1. ファンクションスイッチをスライドして「テープ / 電源切」に合わせる。



2. (停止 / 開) ボタンを押してカセット蓋を開け、テープを入れる。



3. カセット蓋を押して閉める。

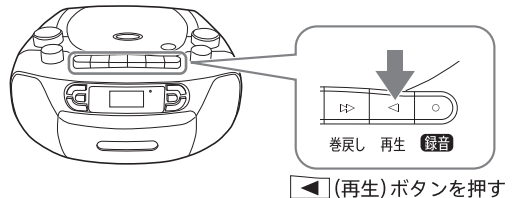


4. (再生) ボタンを押す。

再生が始まります。

停止するには (停止 / 開) ボタンを押します。

また、テープが終わると自動で再生を停止します。



早送り/巻戻しをするには

(巻戻し) / (早送り) ボタンを押して、お好みのときに (停止 / 開) ボタンを押します。

注意

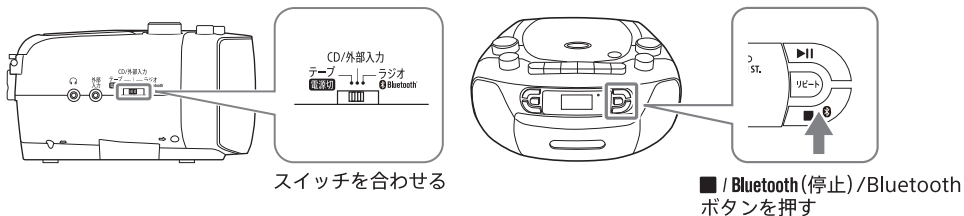
• 本機では、60 分以下のノーマルテープをご使用ください。

早送り / 巻戻しは自動で停止しないので必ず (停止 / 開) ボタンを押してください。

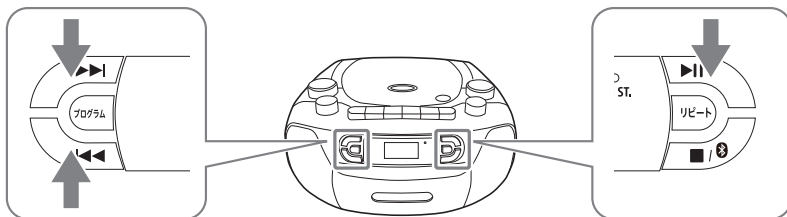
テープに録音する

CDの曲を録音する

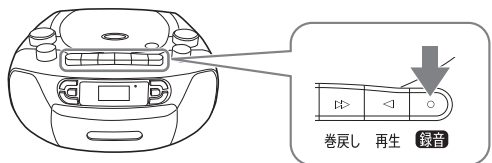
1. CDをディスプレイに入れ、ファンクションスイッチをスライドして「CD/外部入力」に合わせる。CDの読み込みが始まり、再生が始まるので、■ / Bluetooth (停止) / Bluetooth ボタンを押します。



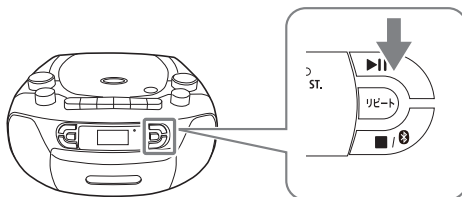
2. ◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンでお好みの曲を選択する。▶▶ (再生 / 一時停止) ボタンを押して一時停止状態にする。



3. ● (録音) ボタンを押す。(録音ボタンを押すと同時に再生ボタンも押されます。)



4. ▶▶ (再生 / 一時停止) ボタンを押し、CD を再生する。



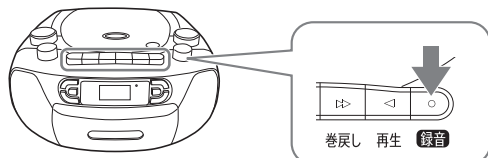
録音を停止するには ■ / (停止 / 開) ボタンを押します。

※録音したカセットテープを聞くときは、ファンクションスイッチを「テープ / 電源切」に切り替えてください。

ラジオ放送を録音する

ファンクションスイッチをスライドして「ラジオ /Bluetooth」に切りかえ、AM/FM 切替スイッチをスライドして「AM」もしくは「FM」、「FM ステレオ」を選び好みの放送局を選択し、**●** (録音) ボタンを押します。

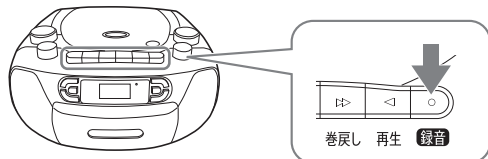
録音を停止するには**■/▲** (停止 / 開) ボタンを押します。



● (録音) ボタンを押す

Bluetooth機器の音源を録音する

ファンクションスイッチをスライドして「ラジオ /Bluetooth」に切りかえ、(停止) Bluetooth ボタンを押して「bt」に切り替える。BLUETOOTH 機器と接続したあと、**●** (録音) ボタンを押します。録音を停止するには(停止 / 開) ボタンを押します。

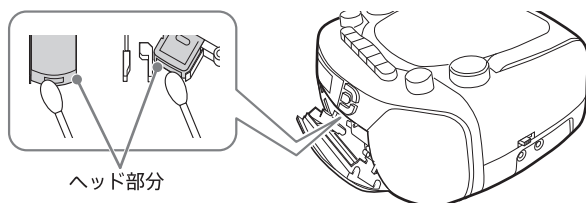


● (録音) ボタンを押す

録音/再生および消去ヘッドのクリーニング

テープと接触する面の汚れは、雑音・音が小さい・音が途切れるなどの原因となりますので、定期的にクリーニングをしてください。

クリーニングする際は電源を切って、カセットの再生ボタンを押して、ヘッド部分を下げてください。お手入れは綿棒 (市販品) にクリーニング液 (市販品) を含ませて、ヘッド部分の汚れを拭いてください。



注意

- クリーニング液が完全に乾いてからテープを入れてください。

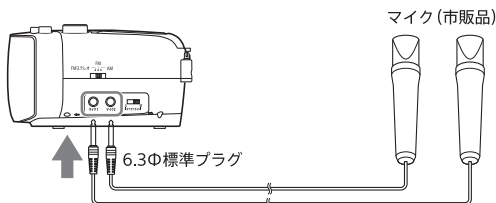
マイク(市販品)を使ってカラオケなどを楽しむ

マイク(市販品)を接続してスピーカーからマイクの音声を出すことができます。CDを再生しながらカラオケを楽しんだり(22ページ)、CD音源と歌をテープに録音したり(23ページ)することもできます。

マイクを接続する

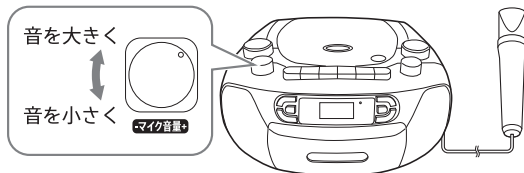
側面のマイク入力端子にマイク(市販品)を接続してください。

マイクは最大2本まで接続できます。ファンクションスイッチをスライドして、「CD/外部入力」もしくは「ラジオ/Bluetooth」に切り替えてください。



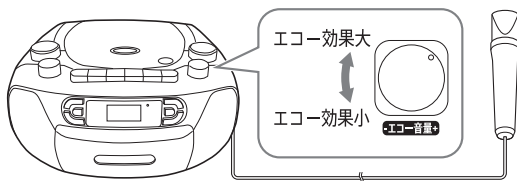
マイクの音量を調節するには

マイクのスイッチを入れてから、マイク音量ダイヤルを回します。時計回りにダイヤルを回すと音量が大きくなります。



エコー音量を調節するには

マイクのスイッチを入れてから、エコー音量ダイヤルを回します。時計回りにダイヤルを回すとエコー効果が大きくなります。



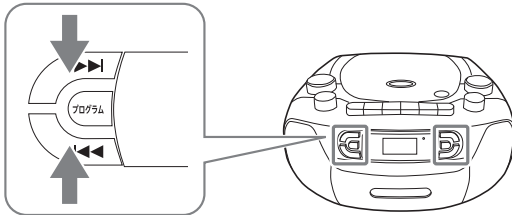
注意

- 突然大きな音が鳴って驚かないよう、マイクと本体の音量を下げてからマイクのスイッチを入れてください。
- マイク音量ダイヤルと本体の音量調節ダイヤルで、実際に声を出して音量を確認しながら調整してください。
- マイクを使用中にハウリング(キーンという音)が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。
- 6.3φ標準プラグ以外のマイクを使用する際は、市販の変換アダプターをご使用ください。

CDでカラオケを楽しむ

CDの音源を再生しながら、マイクの音声を出力してカラオケを楽しむことができます。

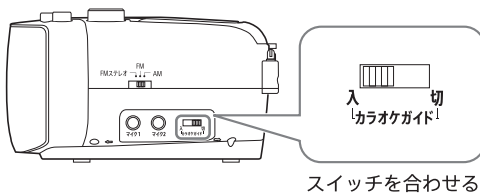
1. マイク入力端子にマイク(市販品)を接続する。
マイクの接続については21ページをご参照ください。
2. カラオケ音源用のCDをセットする。
CDのセット方法は10ページをご参照ください。
3. カラオケとして使用する曲を◀◀(曲戻し)/▶▶(曲送り)ボタンで選択する。



◀◀(曲戻し)/▶▶(曲送り)ボタンを押す

カラオケガイド機能を使うには

側面のカラオケガイドスイッチを「入」に合わせてからマイクを使用して歌うとCDの歌声が小さくなります。マイク音声小さくなると、CDの歌声が大きくなります。カラオケガイドスイッチを「切」にすると機能が解除されます。



注意

- CD以外の音源を再生しているときは、カラオケガイド機能は動作しません。
- 歌手の音域および音源によって、歌声が十分に小さくならないことがあります。

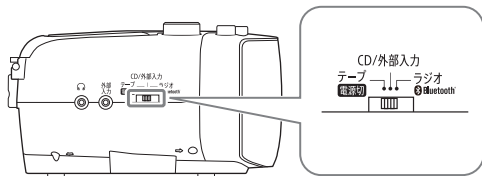
4. マイク(市販品)のスイッチを入れて▶▶(再生/一時停止)ボタンを押す。
再生が始まりますのでカラオケをお楽しみください。
※カラオケガイド機能はCDを再生時のみ対応します。
※カラオケガイド機能は全ての楽曲への対応を保証するものではありません。

カラオケと歌をカセットテープに録音する

CDの音源とマイクの音声をテープに録音できます。

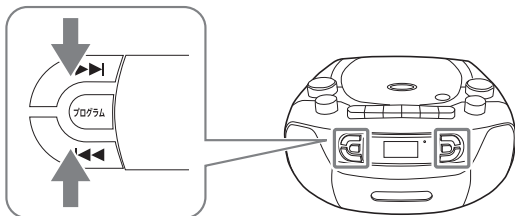
1. マイク(市販品)、カラオケCD、録音用のカセットテープをセットする。
マイクの接続方法は21ページ、CDのセット方法は10ページ、カセットテープのセット方法は18ページをご参照ください。

2. ファンクションスイッチをスライドして「CD/外部入力」に合わせる。



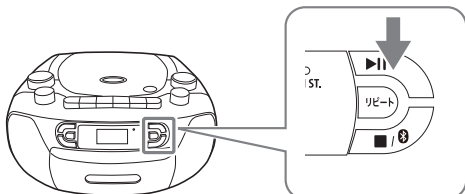
スイッチを合わせる

3. カラオケとして使用する曲を
◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り)
ボタンで選択する。



◀◀ (曲戻し) / ▶▶ (曲送り) ボタンを押す

4. ▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを
押して一時停止状態にする。

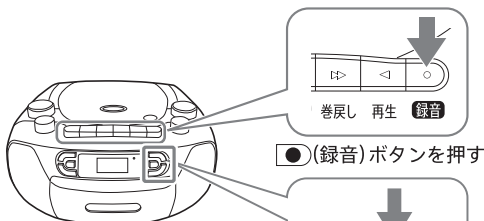


▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す

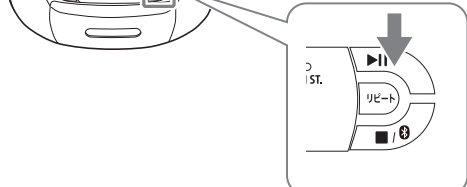
5. ● (録音) ボタンを押してから、
▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す。

テープの録音とCDの再生が始まります。

録音を停止するには ■/▲ (停止 / 取出す) ボタンを押します。



● (録音) ボタンを押す



▶|| (再生 / 一時停止) ボタンを押す

ヘッドホンで聞く

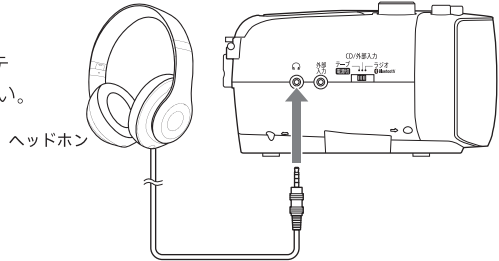
ヘッドホン端子にヘッドホンをつないで、聞くことができます。
ヘッドホンをつなぐとスピーカーからは音は出なくなります。(市販品ヘッドホン)

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じるがありますが、ヘッドホンの故障ではありません。

ヘッドホンを接続する

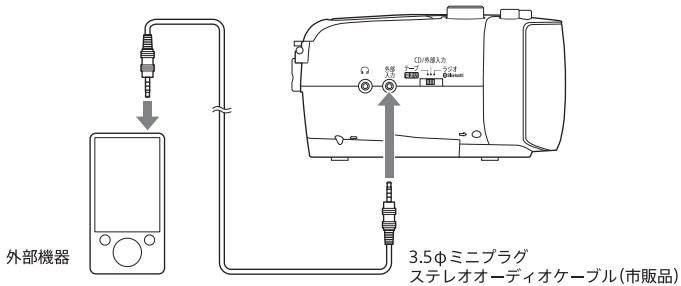
側面のヘッドホン端子に3.5φプラグのステレオヘッドホン(市販品)を接続してください。



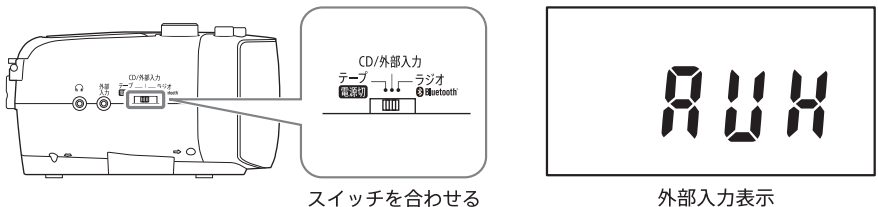
外部音源で聞く

外部入力端子に、他の音楽プレーヤーを接続することで、音声を本機のスピーカーから聞くことができます。

1. 外部入力端子に外部機器を接続する。



2. ファンクションスイッチをスライドして「CD/外部入力」に合わせる。



3. 外部機器を操作して、曲を再生する。 ※外部機器の曲をテープに録音することもできます。

故障かなと思ったら

症 状	ご確認ください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 電源コードが AC IN 端子とコンセントにしっかりと差し込まれていますか。 ➔ 乾電池で使う場合、乾電池が正しい方向で入っていますか。 ➔ 乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。 ➔ 乾電池で使う場合、電源コードを ACIN 端子から抜いていますか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ファンクションスイッチで正しい音源を選択していますか。 ➔ ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。 ➔ 音量が最小になっていませんか。 ➔ CD やカセットテープの再生が一時停止状態になっていませんか。 ➔ マイクを使う場合、正しく接続されていますか。 ➔ マイクを使う場合、マイク音量が最小になっていませんか。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 近くで携帯電話など電波を発するものを使用していませんか。 ➔ テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信していませんか。雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画面が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
CDの再生が始まらない CDを入れても「No」と表示される	<ul style="list-style-type: none"> ➔ CD 蓋が閉まっていますか。 ➔ CD の文字のある面を上にしていませんか。 ➔ CD またはレンズがひどく汚れていませんか。 ➔ 規格外のディスクが入っていませんか。 ➔ ファンクションスイッチで正しい音源を選択していますか。 ➔ CD-R、CD-RW を再生する場合、CD がファイナライズ処理されていますか。 ➔ 外部入力端子にプラグが差し込まれていませんか。 ➔ 外部入力端子にオーディオケーブルが差し込まれていませんか。
CDの音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 結露状態になっていませんか。 ➔ レンズがひどく汚れていませんか。 ➔ 強い振動を与えていませんか。 ➔ CD に大きなキズやひどい汚れはありませんか。 ➔ 布団の上など、不安定な場所に置いていませんか。
テープが入らない カセット蓋が閉まらない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ テープの向きが上下逆になっていませんか。テープの見えている方を上にして入れてください。 ➔ テープが正しく入っていますか。正しく挿入してください。
テープで再生/録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。 ➔ 古いテープを使用していませんか。テープの伸びや磁気記録の劣化などによって正常に再生されない場合があります。テープを交換してください。

症 状	ご確認ください
テープが走行しない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。 ➔ テープが全部巻き取られていませんか。テープの裏表を入れ替えてください。
録音ボタンが押せない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ツメの折れたテープを装着していませんか。テープを取り替えてください。また、録音し直すときは、セロハンテープで誤消去防止穴をふさいでください。
録音ボタンがロックできない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 不良品のテープを使用していませんか。テープを交換してください。
音が途切れる 音程が狂う 消去が不完全	<ul style="list-style-type: none"> ➔ ヘッドが汚れていませんか。クリーニング液(市販品)やクリーニングカセット(市販品)等で清掃してください。 ➔ ハイポジションやメタルテープを使用していませんか。ノーマルテープを使用してください。 ➔ 乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。 ➔ 同じテープに何度も録音して使っていませんか。
録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ テープのツメが折れていないか、確認してください。ツメの折れているテープには録音できません。
テープの回転ムラがある	<ul style="list-style-type: none"> ➔ テープがたるんでいませんか。 ➔ 乾電池で使う場合、乾電池が消耗していませんか。
ペアリング(機器登録)できない 本機とBluetooth機器を 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ➔ 本機とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。 ➔ 本機のファンクションスイッチをスライドしてBluetoothモードに切り替えてください。 ➔ Bluetooth機器側の接続機器一覧から本機を一度削除し、もう一度ペアリングしなおしてください。
それでも解決しない時は…	<ul style="list-style-type: none"> ➔ アイワの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部	チャンネル数 サンプリング周波数 再生可能ディスク	2チャンネルステレオ 44.1kHz 音楽CD、CD-R/RW（CD-DAフォーマット記録ディスク）
カセットテープレコーダー部 ラジオ部	トラック方式 推奨テープ 受信周波数	4トラック、2チャンネルステレオ ノーマルテープ60分以下 FM：76～108MHz（0.1MHzステップ）ワイドFM対応 AM：522～1620 kHz（9kHzステップ）
Bluetooth部	バージョン 対応プロファイル 対応コーデック	Ver.5.0 A2DP SBC
共通部	電源 電池持続時間 スピーカー ヘッドホン出力端子 AUX外部入力端子 マイク入力端子 消費電力 最大外形寸法 質量	家庭用電源（AC100V 50/60Hz） 単2形乾電池6個使用（DC9V）（別売） （アルカリ乾電池使用時） CD再生時：約12時間、FMラジオ受信時：約50時間、 テープ再生時：約16時間 2.0W×2 3.5Φステレオミニ 3.5Φステレオミニ 6.3Φ標準プラグ 15 W 230 mm（幅）×123mm（高さ）×220mm（奥行） 約1.5 kg（乾電池含まず）
同梱品	本体（1） 電源コード（1） 取扱説明書/保証書（本書）	

商標について

- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, INC. の所有です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも調子が悪いときは

アイワの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

製品保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは製品保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

製品保証書

持込修理

品名	CDラジオカセットレコーダー		
型名	CSD-MB40		
お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げの日から 1年		

本書は、下記記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中に故障が発生した場合は、ご記入の上、修理をお申し付けください。

●本書は再発行しませんので大切に保管ください。

お客様				様
ご住所	〒□□□-□□□□	電話	-	-

●ご販売店様へ

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書はお客様へお渡しください。

販売店			
-----	--	--	--

商品、操作方法やトラブル、修理のご依頼及び部品、修理品に関するお問い合わせ

アイフお客様ご相談窓口：0570-062-312

受付時間：平日9時～17時(土日、祝日、長期連休を除く)

※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

アイフジャパン株式会社 ホームページ：<http://a-jm.co.jp>

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品が故障した場合には、本書に従い無償修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(持込修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼及び本書の提示・提出をお願いいたします。
なお、受付窓口の種類は、お買い上げの販売店または本書に記載の相談窓口となります。

種別	保証書の提示・提出
持込修理	持参した製品の修理依頼の際に提示

2. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
 - (1) 本書の提示が無い場合。
 - (2) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合。
 - (4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷。
 - (5) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障・損傷。
 - (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障・損傷。
 - (7) 一般家庭用以外(業務用など)に使用された場合の故障・損傷。
 - (8) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷。
 - (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換。
3. 故障の状況その他事情により、修理に変えて製品交換する場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替え部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ、適切に処理・処分させていただきます。
5. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については保証致しません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての保証はいたしません。
8. 本書は日本国内のみで有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

--

- 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、取扱説明書等をご覧ください。